

## 取組事例

(所定外労働削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)



企業名：株式会社 北翔	所在地：江別市
社員数：20名	業種：自動車部品販売・ 自動車整備

### 取組の目的：

仕事に対して人生の比重が重い日本の文化から、仕事は人生の一部であるという生き方、1人1人の個性、価値観、人権を尊重し、何事も自主的に主体的に行動する社会人となることを目的としている。

### 取組の概要：

〈現在の取組〉

#### ○ トップ message

日本の過剰とも言えるサービス、顧客からの過剰な要求などの中で働くことは、従業員にとって大きなストレスとなっていると考える。我が社はサービスや顧客ニーズや要望に応えることで顧客から選ばれることはせず、自動車部品業、自動車整備業、自動車リサイクル業として真に選ばれるモノは何かを信念に持ち、そのことを追求し続けることで選んでいただける顧客に、最大のパフォーマンスを与えられるように努力する。

従業員とその家族の健康促進、残業ゼロの維持、有給休暇取得の推進、多様な働き方が進むよう、何事も個人夫々の価値観、考え方、自主性、主体性を尊重し、会社からの押し付けとならぬよう取り組む。

#### ○ 顧客からの電話対応の全面取りやめ

労働時間の短縮、生産性の向上のために、電話対応を取りやめた。

電話は受ける事により行っていた仕事を一旦止めて受け答えしなければならないため、時間ロスが多い。また、互いに伝える内容にミス、忘れ、などが起きることが多く、全体にロス要因が多いため電話対応は行わないことを2011年5月より実施した。

また、電話を受けないことで時に居る高圧的な顧客に社員は怯えることも無くなり、業務に励むことが出来る。

#### ○ 残業が少ない従業員を高く評価する評価制度

残業をしなくても時間通りにその日の仕事をこなす能力を高く評価し、仕事が時間内に終わられない人は、スキルアップが必要という考え方で、残業時間が少ない人の昇給、ボーナスは高く、残業が多く、減って行かない人の昇給、ボーナスは低くなる制度としている。

(次ページに続く)

- 顧客との取引方法は当社が定めている規約を前提にし、顧客より規約に外れた要望は聞き入れない。  
規約を逸脱した要求を受けると社員は判断がしづらくなり、業務がスムーズに進まない。  
逸脱した要望を高圧的に要求してくる顧客にも例外なく規約内で対応するため、対応する従業員のストレスは軽減され仕事に集中することが出来ている。
- BCP（事業継続計画）の立案・実施のための検討取り組みを社員により開始  
あらゆる災害や災害などで起きうる事態に対し、社員と家族の安否確認、生活のための食料、生活必需品などの備蓄、事業を早く再開させるための手段、などを従業員自ら考え、万一に備える習慣を身につける。
- CSR 活動、社会体験活動の自主的实施  
CSR 活動として毎年ゴミ拾い活動を行ったり、外来種の駆除活動、社会体験のための農業体験などあらゆることを社員の企画で体験し、社会に起きている問題、現状を知り、実際に取り組むことで、社会のあらゆる問題に関心を持ち、健全な精神を養い、社会に広めていくことを願って続けている。

## 現状とこれまでの取組の効果：

- 会社の風土が、社会の課題も、会社の事業計画やその達成のための課題も、常に自ら改善、改良、変革させようという言動になっている。
- 所定外労働時間数：平成24年 月平均60時間 → 平成29年 月平均8時間
- 休日：平成24年 年間95日 → 平成26年 年間105日
- 有休消化率：平成28年 28% → 平成29年 33%（5年ほど前は10%以下）
- 平均年収：平成24年から平成29年までの5年間で平均40万円アップ

### 〈今後の取組〉

- SDGs を学び、世界の課題、社会の課題を己のモノと捉え、会社の事業と社員の生き方によって改善されることの認識を深め活動の拡大を図る。  
SDGs とは国連が2013年の世界中の国々の代表が参加する会議を行い、2030年までのグローバル目標を打ち立て、2015年に国連本部で採択されたもので、日本も当然加わっている目標です。  
しかし、日常では殆どSDGsの17の目標を知ることも無く、時間が過ぎていきます。  
この17の項目の中には、事業上でも生活の中でもあらゆる面に関わることが出来、目標に向かう行動が見いだせます。  
この世界の問題を社会人として知り、自覚し、持続可能な社会を作るステークホルダーであることを認識し、会社と家庭と社会を通じて、アクションを起こしていきます。